

プラン名称:《100年先に伝承したい山梨新ミズベリング構想》

「平安・江戸時代からの継承する日本文化を観光で次世代につなげるために」

チーム名	篠原ゼミDチーム	対象地域	山梨ステージ
大学名	跡見学園女子大学	テーマ	ミズベリングと連動した富士川水系流域の「観光まちづくりプラン」
リーダー名	今野 莉佳		
指導教員名	篠原 靖		
メンバー名	有田さつき 今友里 清水菜央 佐藤千菜美 内藤実咲 堀越彩花 宮田あずさ 森陽花		

【本選出場】 笛吹市長賞 受賞

1.本企画の趣旨と概要 (現地取材を通しての結論)

本企画は平安・江戸時代からの継承する日本の歴史文化である日本3大急流・「富士川下りの復活」と「**笛吹川鵜飼の世界ブランド化**」の2つを柱としました。高齢化率の高い山梨県の地域創生を目指し100年先に伝承すべき新たな観光資源の確立を目指します。世界遺産富士山依存の観光から脱却し、地元の富士川町、笛吹市の皆さんの「ミズベリングへの夢」を私たちと協働で実現する観光まちづくりプランです。本企画はまさに水辺を活用した山梨観光の世界戦略です。!

2.山梨県全体・富士川町・笛吹市の課題と現状

●**山梨県の観光の課題**＝様々な分野の誘客企画にチャレンジするが一過性で中々核としての観光資源が育成できていない。→果物・自然、富士山だけではなく長期的な戦略で山梨県の新たな核となる観光資源の育成が急がれています。

●**富士川町(峡南)の観光課題**＝中部横断道の開通を2016年に控え、「核」となる観光資源の育成や誘客出来る仕組み造りが急がれてきています。→地域の人々の日本三大急流富士川とのかかわりや、江戸時代から同地に伝承される先人の生活の知恵や文化を着地型観光で旅客価値の創造をはかる事が大切であると取材から感じました。これらの「生活文化観光資源」と合わせて2014年11月30日に休業した日本三大急流の「富士川下り」を復活させ峡南地域を山梨県の新たな中核観光エリアに成長させて行くのが課題であると思います。

●**笛吹市の観光課題**＝石和温泉は富士山世界遺産認定後宿泊者数は上向っていますが、ブームが過ぎれば逆戻りすると感じます。石和は温泉地として本質的なまちづくりを行う事大切であり中長期的視野でミズベリングによる観光まちづくりを推進する課題に迫られています。

3.山梨に現存し更なる活性化が期待できる二つの観光資源

(1)日本3大急流「富士川下りの復活」峡南地区の観光の目玉に……!

「富士川舟下り」を復活させたい!! 現地への取材から見て来たのは富士川町を中心に峡南地域を舞台にし、3年前にスタートした、富士川舟下りの廃業(昨年11月)を惜む声。私たちは、再度この「富士川舟下り」を地域観光の「核」とすると共に、富士川沿いの峡南地区に伝わる生活文化を、観光の価値に繋がるように地元のまちづくり団体の皆さんと協働で新たな観光まちづくりにチャレンジしたいと考え、最終的には「富士川下り」を核に繁栄を見せていた富士川沿いの生活文化に触れる着地型観光を定着させたいと考えます。★(日本三大急流で舟下りを観光利用できていないのは富士川だけ! 最上川・球磨川舟下りは地域観光の「要」、「拠点化」している)★。(峡南地区の取材により本取組を大迎するとの確認を取りました。地元の協力関係もバッチリです!)

(2)平安時代から600年の歴史を伝承し日本唯一の徒鵜飼「**笛吹川鵜飼の世界ブランド化**」

笛吹川の鵜飼は舟を利用せず川に鵜匠が入水し漁を行う「徒歩鵜飼」と言う平安時代に開始された日本の伝統漁法です。この「徒鵜飼」は関西を中心に定着していましたが後継者不足により絶滅の危機に瀕し、全国で生き残っているのは、この笛吹川のみとなりました。現在は「笛吹川石和鵜飼保存会」の皆さんが何とか守り継いでいるものの、その存続は大変厳しい状況に置かれています。⇒ここで今回は女子大生の発想による「笛吹市ミズベリング構想」と「**笛吹鵜飼を世界ブランド**」に育て上げる作戦をリンクさせた大胆な観光まちづくりプランを地元の皆さんと産官学連携で構築して行きます。具体的には①地元に頑張る保存会の皆さんを応援するため、東京で観光を学ぶ私たち跡見女子大生も鵜匠に参戦!**(ゼミ単位認定のインターンシップとして参戦)様々なアイデアで笛吹鵜飼を山梨観光の核に育てます。**②鵜飼を次世代に繋げ世界ブランド化するために若者視線での話題作りを行います。

●地元女子高生と跡見女子大生で構成するFU娘。(笛吹川鵜匠ムスメ)を大学で2年次行われているインターンシップでデビューさせ、山梨ミズベリングキャンペーンを行います。

●地元イケメン男子高校生・大学生＝鵜匠王子を(公募)デビューさせる「**鵜匠王子コンテスト**」の実施●「**鵜匠娘と鵜匠王子**」をモチーフに「**笛吹川鵜飼七夕まつり**」を開催する。●鵜飼娘がご案内する恋愛成就ツアー(着地型ツアー)の定番化。

→結婚の神のイザナミノミコトが祀られている甲斐奈神社、柚ノ木熊野神社また、地元の人に恋愛運が上がる神社と有名な一宮浅間神社を中心に市内のパワースポットを新たに売り出す。●**跡見女子大生が提案する「女性が楽しいミズベリングのアイデア**」⇒①四季を感じる笛吹・石和水辺パーク構想、②四季を演出する水辺リングプラン、③笛吹七夕オープンカフェ、女子大生が笛吹権三郎の笛の音伝説を「**鵜匠娘アリサと鵜匠王子権三郎**」が主役の新しい笛吹七夕ロマン伝説(物語)を考案します。④笛吹川鵜飼マルシェ(*365日、本物鵜鳥と遊べる地域産品を提供する个性的なマルシェ)⑤笛吹川イルミネーション＝最近集客効果が高いとされているプロジェクトマッピングで学生が考案した「**鵜匠娘アリサと鵜匠王子権三郎**」の物語を本当の水辺で再現!**若い女性が必ず見に来ます!**⑥鵜匠娘がご案内・着地型山梨恋愛成就ツアー等

4.ターゲット層

(1)「観光まちづくりプラン」(富士川下り・鵜飼の世界戦略) 熟年層およびゴールデンルートに飽きた外国人

(2)今回のモニターツアー

首都圏在住の**20~30代カップル**



5.今回のモニターツアーの企画コンセプトと募集方法

★モニターツアーの概要と目的

(1)一連のミズベリング構想を展開する前に市場調査のためのモニターツアーを行います。

(2)募集ターゲット

20~30代の女性とカップルとし、地元の恋愛成就で有名なパワースポットを「**鵜匠娘**」にふんした跡見女子大生がご案内するミニツアーや富士川における若者のアクティビティの魅力が参加者にどの様に映るのかを調査項目に加え今後の着地型旅行商品の可能性を探ります。富士川水系の水辺リングと山梨の生活文化を体験する内容としています。**今回のモニターツアーでは現在廃業している「富士川下り」を特別に手配し、さらに「笛吹川徒鵜飼」の見学と体験を特別に盛り込み、「体験・滞在・交流」をキーワードに山梨観光の奥行の深さを体験する内容に仕上げました。**

(3)募集方法

学生が持つ最新のSNS技術を駆使し、さらに話題の「**日本最大級の体験レジャー予約サイト・asoview!アソビュー**」や地域情報ニュースまぐまぐの協力により、観光振興や旅マニア向けに情報発信を行います。

(4)その他

今回のモニターツアーは山梨県の代表的な水辺の温泉を厳選、1泊目は「きれいなツルツル温泉」として知られる芦安温泉を、2泊目は鵜飼体験に便利な石和温泉を宿泊場所に採用しています。



5.観光経済効果

本観光まちづくりプランが順調に成功すれば……

4年後の山梨県の観光消費額は**464億5千95万3**

千円アップすると想定しています!

(計算論拠はパワポデータにあります)